

---

## 第 5 章

---

### 分析

---

---

## 5.1 分析

---

### 5.1.1 概要

Grape は、「お気に入り」ホームページを分類整理することができるばかりでなく、登録したホームページへのアクセス状況を分析し、三次元のグラフでビジュアルに表示することができます。現在バージョンの Grape では、以下の4つの観点から分析が可能になっています。

- 頻度
- 曜日別アクセス割合
- 日付別アクセス時間
- ユーザ別アクセス数

#### 頻度分析

登録されたホームページ別にアクセス数がグラフで表示されます。ここで注意していただきたいのは、ここで表示されるものは、登録されたホームページについてのみの頻度分析であるという点です。ブラウジングしたホームページすべてについて頻度分析したものではありません。

登録されたホームページが8以上ある場合には、複数ページに表示されます。前後のページに移動するには、上段の「前ページ」「次ページ」ボタンをクリックします。

#### 曜日別アクセス

[分析] ページの中にある「曜日別アクセス数」タブをクリックすると、曜日別のアクセス状況が円グラフで表示されます。

#### 日付別アクセス時間

[分析] ページの中にある「日付別アクセス時間」タブをクリックすると、日付別のアクセス時間が横棒グラフで表示されます。

#### ユーザ別アクセス数

[分析] ページの中にある「ユーザ別アクセス数」タブをクリックすると、ユーザ別のアクセス数が横棒グラフで表示されます。



図 5.1: 頻度分析

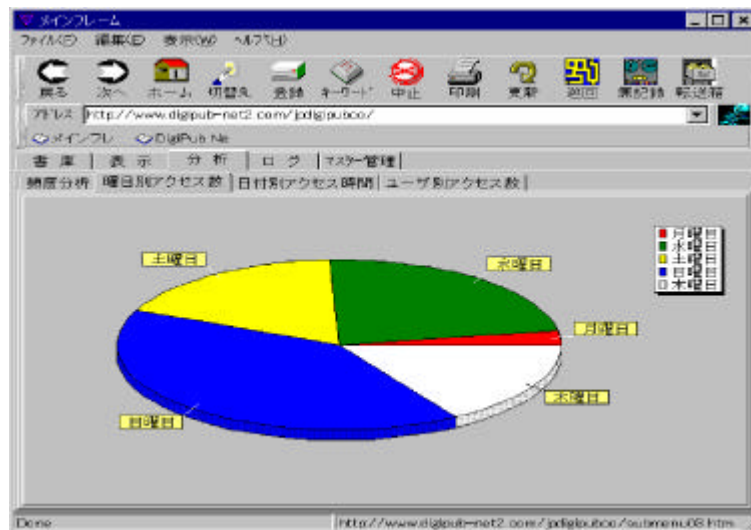


図 5.2: 曜日別アクセス



図 5.3: 日付別アクセス時間



図 5.4: ユーザ別アクセス数

---

## 第 6 章

---

ログ

---

## 6.1 ログ

---

### 6.1.1 概要

Grape は、接続ごとに記録を残すことができます。したがって、登録していないホームページであっても、以前アクセスしたホームページであれば、その記録（ログ）からそのアクセス先を探し出すこともできます。ただし、このログファイルは、すべてのアクセスを記録してしまうと、膨大になってしまいますので、Grapeではログをとるか否かを、スイッチで切り替えられるようになっています。

上段のアイコンのテープレコーダ・マークをクリックすると、この機能のオン／オフが切り替わります。起動時は、オフの状態になっています。

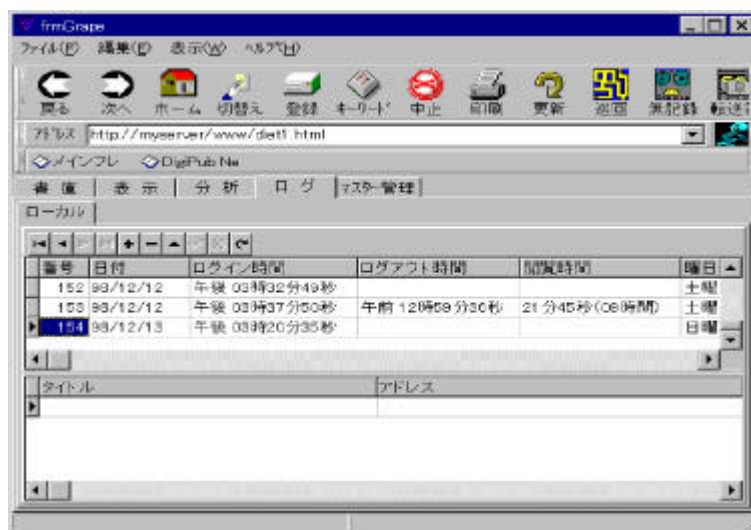


図 6.1: 概要

### ログのオン・オフ

上段のアイコンのテープレコーダ・マークをクリックすると、この機能のオン／オフが切り替わります。起動時は、オフの状態になっています。

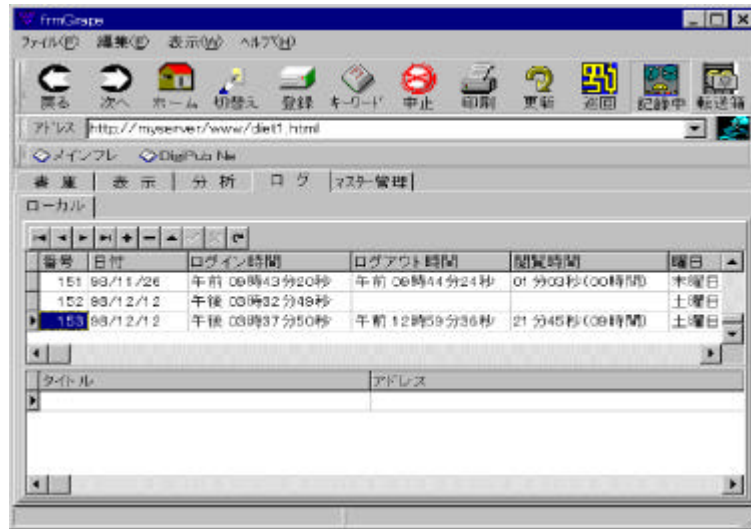


図 6.2: ログのオン・オフ

### ログリストからのアクセス

ログをオンの状態にした場合には、次に起動した時点でそのアクセス先を一覧することができます。もちろんそのリストからアクセスしたいホームページの行をダブルクリックすれば、そのホームページを表示することもできます。

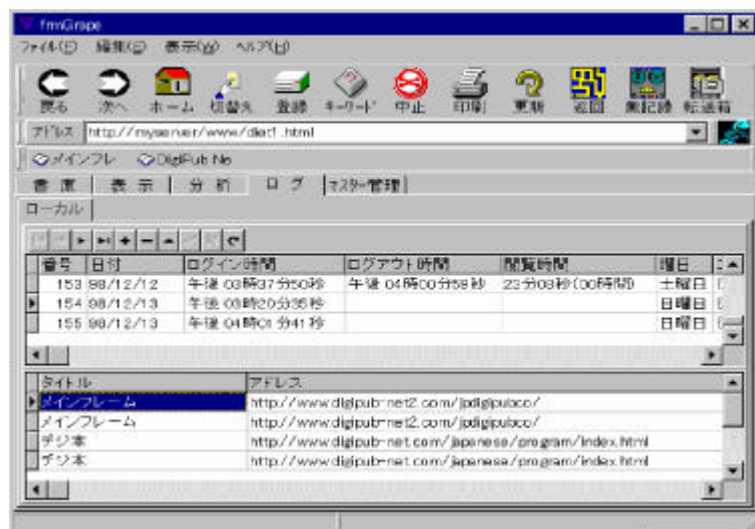


図 6.3: ログリストからのアクセス



---

## 第 7 章

---

### マスター管理

---

## 7.1 マスター管理

---

### 7.1.1 概要

マスター管理とは、Grape で利用しているデータベース・ファイルの管理を意味します。Grape で使用しているデータベースは、主として以下の 3 種類です。

- 書庫データベース
- 巡回データベース
- ログデータベース
- 転送データベース

このうち、ログデータベースについては、[ログ] ページで直接管理していますので、[マスター管理] ページで管理しているものは、それ以外の 3 種類のデータベースということになります。



図 7.1: 概要

### 書庫

書庫は、すでにふれたように「お気に入り」のホームページの情報を格納したデータベースです。この [マスター管理] ページでは、すでに登録されたホームページデータを修正、削除し、さらに新しいホームページ情報を登録することができます。

上段のボタンは、左の4ボタンが移動用のもので、それから挿入 [+ ]、削除 [- ]、編集 [▲]、登録、取り消し、更新の意味を持っています。



図 7.2: 書庫

## 巡回

巡回データベースは、毎日固定的に参照するホームページ、それを表示する時間が格納されているデータベースです。これは、上段の巡回ボタンをクリックし、自動巡回を開始したときに参照されるものです。自動巡回をするためには、ここに予めホームページ・アドレス、表示時間を登録しておく必要があります。

## 転送用

転送用データベースは、複数データベース間でデータを転送するためのバッファの役割を持つデータベースです。例えば、普段は自分用のローカルデータベースを使用してブラウズしているとします。そのときに、自分個人のみならず、組織やグループ全体にとっても有用なホームページが見つかったとします。その場合、Grape ではその登録情報を一時的なデータベースに一旦登録し、次に特定のグループや組織のデータベースを開いて一括してその情報を登録することができます。これにより、今までブラウザ単位でのバラバラな情報収集が有機的に統合され、その収集力が飛躍的に高まります。

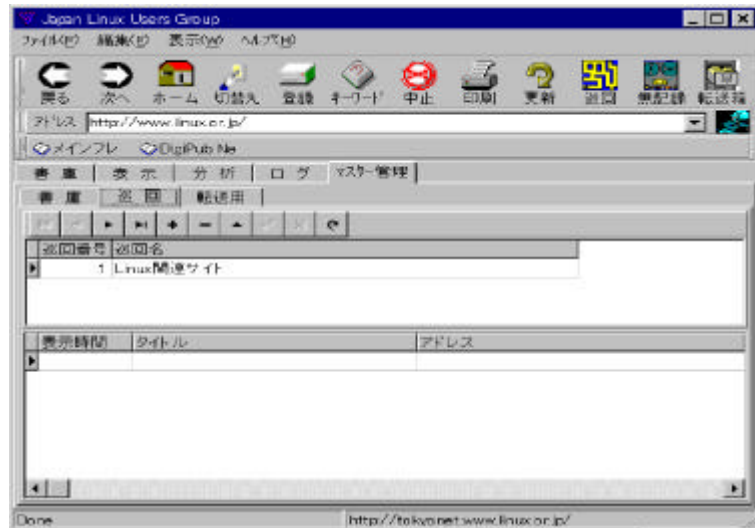


図 7.3: 巡回

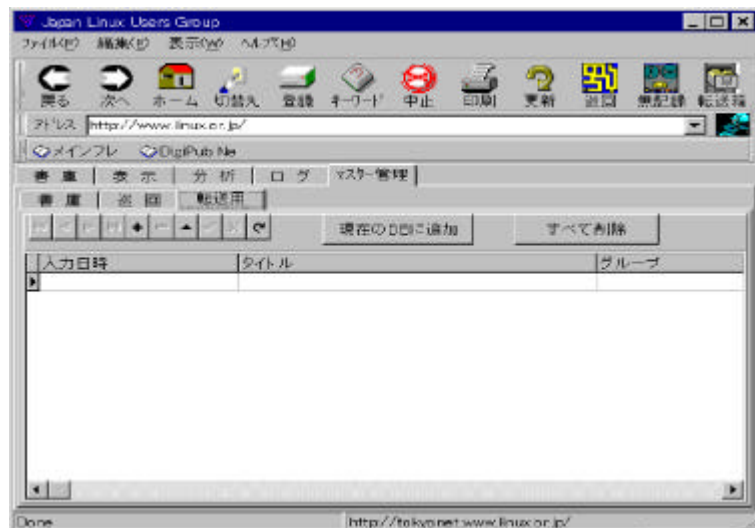


図 7.4: 転送用

---

## 第 8 章

---

補足 (*Access 97* を使用する場合)

---

## 8.1 Access97用の設定方法

---

Grape に付属している Access 用ファイルを Access95 からバージョンアップした Access97 でない Access97 で使用するためには、Grape とともにインストールされる Inprise 社のデータベース・エンジン管理ソフト (BDE Administrator) により、設定をし直す必要があります。またもともと BDE Administrator を使用している場合で、その設定が Access97 専用のドライバを使用している場合にも、同様の手続きが必要になります。以下にその方法を説明します。

### 8.1.1 BDE の起動

まず、コントロールパネルの中にある [BDE Administrator] をダブルクリックし、BDE Administrator(BDE 管理プログラム) を起動します。



図 8.1: BDE の起動

### 8.1.2 ドライバの選択

BDE Administrator が起動されると、左側に [データベース] と [環境設定] と表示されるので、[環境設定] タブをクリックします。すると [Drivers] と [System] が表示されるので、この [Drivers] をクリックし、さらにその下に表示される [Native] をクリックします。

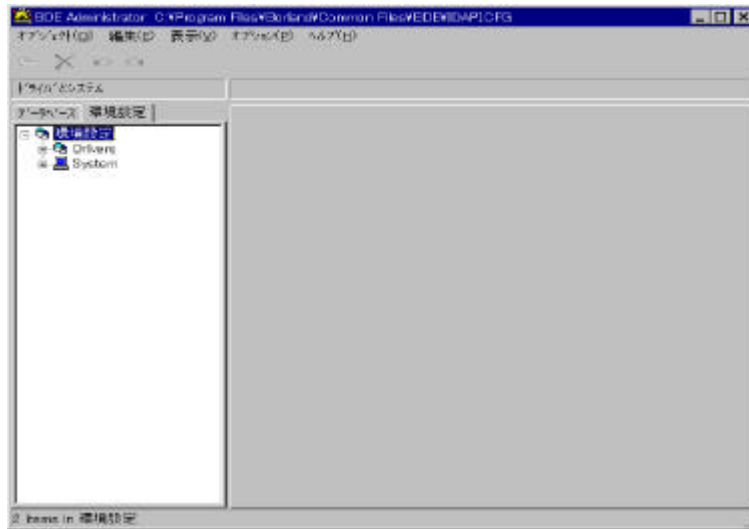


図 8.2: ドライバの選択

### 8.1.3 Native ドライバの選択

[Native] を選択すると、その下に、

- PARADOX
- DBASE
- MSACCESS
- INTRBASE

というように表示されるので、ここで [MSACCESS] をダブルクリックします。

BDE Administrator が起動されると、左側に [データベース] と [環境設定] と表示されるので、[環境設定] タブをクリックします。すると [Drivers] と [System] が表示されるので、この [Drivers] をクリックし、さらにその下に表示される [Native] をクリックします。

### 8.1.4 MSACCESS ドライバの選択

右側のペインにパラメータの一覧が表示されるので、この中の [DLL32] の項目のところをクリックします。するとその行の右側に [▼] が表示されるので、そこをクリックし、ドライバのリストを表示し、その中から [IDDA3532.DLL] を選択します。

これで設定が終わりです。左上の青い更新用アイコン (矢印) をクリックし、この変更を登録します。

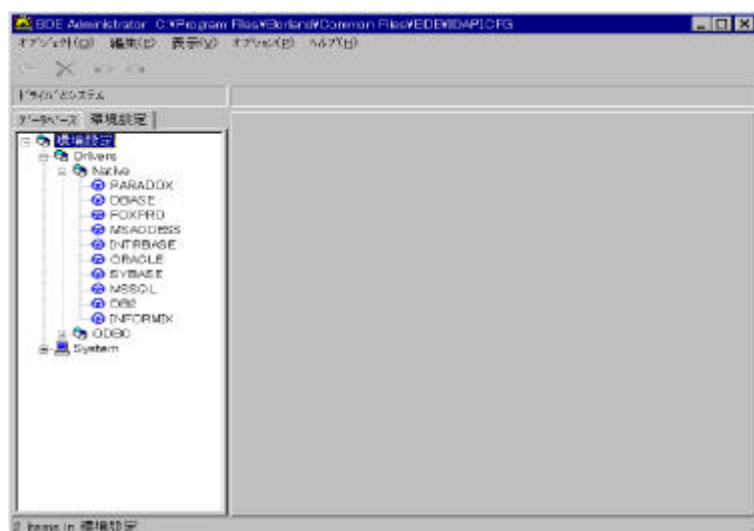


図 8.3: Native ドライバの選択

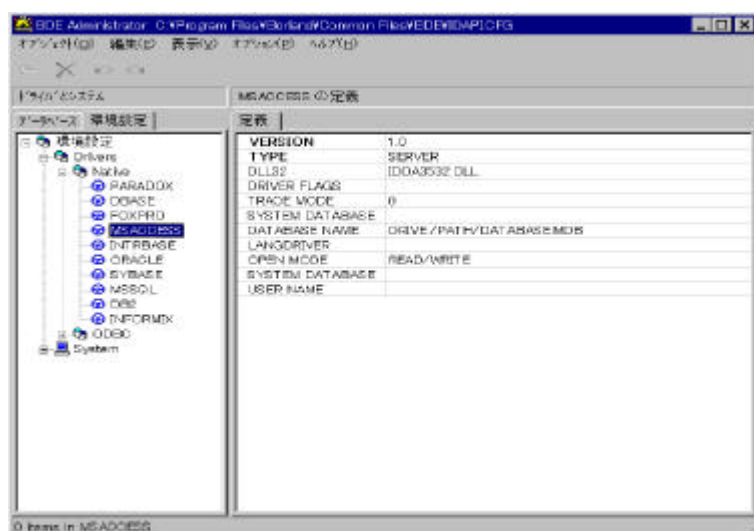


図 8.4: MSACCESS ドライバの選択



---

## 第 9 章

---

その他

---

---

## 9.1 その他

---

### 9.1.1 注意事項

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどがございましたら、support@digipub-net.com まで電子メールにてお送り下さい。

本ソフトを運用した結果の影響につきましては、前項にもかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

### 9.1.2 更新履歴

1998年

9. 10

○βバージョンを開発

11. 25

○0.9バージョンを開発

12.13

○0.9バージョンをインターネットに公開